



Think Automation and beyond...

2017年3月期 第2四半期 (2016年4月1日～2016年9月30日) 決算ご説明資料

決算発表日：2016年11月1日

IDEC株式会社

代表取締役会長兼社長 船木俊之

証券コード：6652

■ 1.	2017年3月期 第2四半期	連結業績概要	
● 1.1	連結決算のポイント		P.4
● 1.2	連結業績概要 <連結損益計算書>		P.5-7
● 1.3	製品別・地域別売上状況		P.8-12
● 1.4	連結業績概要 <連結貸借対照表>		P.13
● 1.5	連結業績概要 <連結CF計算書>		P.14
● 1.6	主なトピックス		P.15
■ 2.	2017年3月期 通期	連結業績予想	
● 2.1	2017年3月期 連結業績予想		P.17-18
● 2.2	2017年3月期 配当予想		P.19
■ 3.	ご参考資料		
● 3.1	売上高・営業利益率	四半期推移	P.21
● 3.2	地域別売上高	四半期推移	P.22
● 3.3	業界の動向		P.23

1. 2017年3月期 第2四半期 連結業績概要

1.1 連結決算のポイント



売上

- 売上高 202.5億円（前年同期比 △ 6.5%）
 - 円高による為替のマイナス影響を受け、全体として売上は減少
 - イネーブル装置などの安全関連製品や防爆関連製品は堅調に推移

利益

- 営業利益 15億円（前年同期比 △ 4.1%）
- 純利益（親会社株主に帰属する四半期純利益） 8.9億円（前年同期比 △ 12.9%）
 - 円高による減収の影響で、営業利益は前年同期比約0.6億円減少
 - 為替差損の計上などにより、純利益は前年同期比約1.3億円減少

配当

- 1株当たり中間配当金 18円（前年同期 18円）
 - 1株当たり年間配当金は36円の予想

1.2 連結業績概要<連結損益計算書>-1



2017年3月期 第2四半期累計 業績概要

売上高 202億 5千 7百万円 (前年同期比 △ 6.5%)
 営業利益 15億 0千 2百万円 (前年同期比 △ 4.1%)

(単位：百万円)	17.3月期 2Q累計			16.3月期 2Q累計	
	実績	対売上比	前年同期比	実績	対売上比
売上高	20,257	100.0%	△ 6.5%	21,661	100.0%
売上総利益	8,384	41.4%	△ 6.5%	8,964	41.4%
販売費及び一般管理費	6,882	34.0%	△ 7.0%	7,398	34.2%
営業利益	1,502	7.4%	△ 4.1%	1,566	7.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	891	4.4%	△12.9%	1,023	4.7%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	29.48円	—	△4.39円	33.87円	—
USDレート (円)	105.26円		△16.62円	121.88円	

1.2 連結業績概要<連結損益計算書>-2



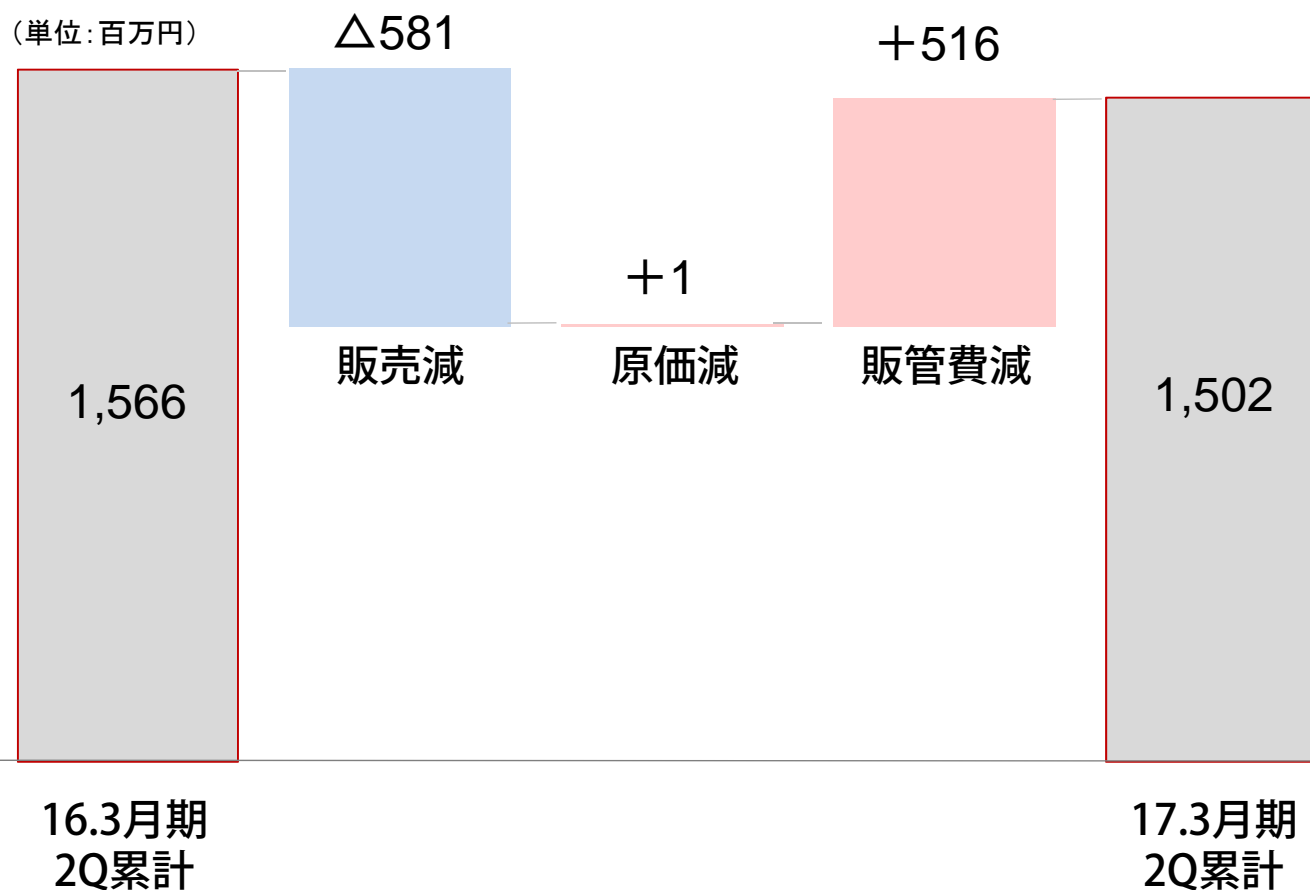
2017年3月期 第2四半期 業績概要

前年同期比で減収となったものの、販売管理費の削減などにより増益を達成。

(単位：百万円)	16.3月期						17.3月期			
	2Q (7月~9月)		3Q (10月~12月)		4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)		2Q (7月~9月)	
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比
売上高	11,169	100.0%	11,443	100.0%	10,362	100.0%	9,361	100.0%	10,896	100.0%
売上総利益	4,740	42.4%	4,588	40.1%	4,465	43.1%	3,920	41.9%	4,464	41.0%
販売費及び一般管理費	3,855	34.5%	3,770	32.9%	3,672	35.4%	3,484	37.2%	3,398	31.2%
営業利益	884	7.9%	817	7.1%	792	7.6%	435	4.7%	1,066	9.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	514	4.6%	631	5.5%	53	0.5%	172	1.8%	719	6.6%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	17.03円		20.88円		1.76円		5.71円		23.77円	

1.2 連結営業損益変動要因

販売管理費の削減効果があったものの、円高による為替変動や、収益性の高い制御用操作スイッチなど主力製品の売上減少の影響もあり、営業利益は前年同期比で約0.6億円減少。



1.3 製品別・地域別売上状況

製品群

制御機器製品	制御装置およびFAシステム製品	制御用周辺機器製品	防爆・防災関連機器製品
 制御用操作スイッチ	 プログラマブルコントローラ	 スイッチング電源	 タッチスイッチ付 防爆表示器
 制御用リレー	 プログラマブル表示器	 端子台	 防爆形操作盤
 安全関連機器	 自動認識機器	 操作盤	 防爆用LED照明
 産業用LED照明			

その他の製品

(環境エネルギー関連)

(セキュリティ関連製品)



パワー
コンディショナ



メガソーラー



施設用LED照明



微細気泡
生成装置



図書館盗難防止
システム

1.3 製品別・地域別売上状況



製品別売上状況

(単位：百万円)	17.3月期 2Q累計	16.3月期 2Q累計	前年 同期比
制御機器製品	11,172	12,313	△9.3%
制御装置および FAシステム製品	3,000	2,996	+0.1%
制御用周辺機器製品	2,416	2,660	△9.2%
防爆・防災関連機器製品	870	760	+14.6%
その他の製品	2,798	2,930	△4.5%
合 計	20,257	21,661	△6.5%

制御機器製品

安全スイッチやイネーブル装置など安全関連製品の売上が好調だったものの、制御用操作スイッチなどの売上が減少。

制御装置およびFAシステム製品

自動認識器製品の売上は減少したものの、プログラマブルコントローラの売上は増加。

制御用周辺機器製品

スイッチング電源などの売上が減少。

防爆・防災関連機器製品

防爆形操作盤などの売上が堅調に推移。

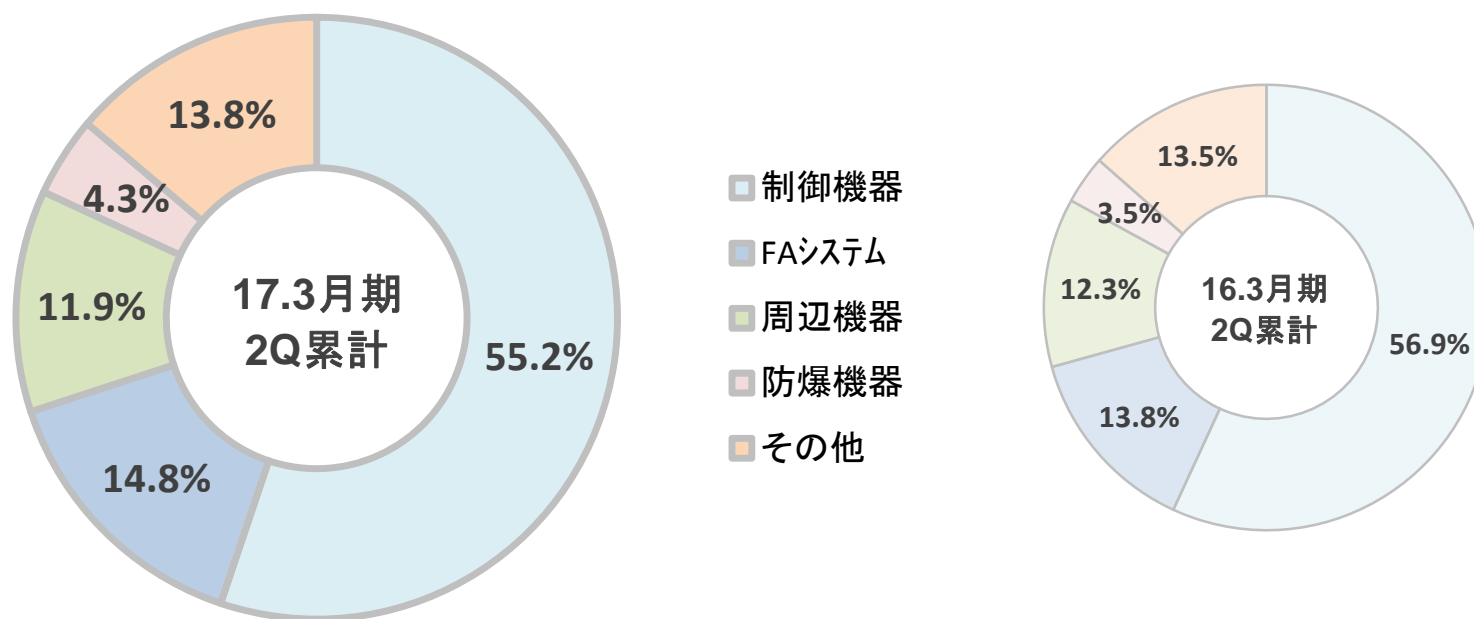
その他の製品

パワーコンディショナは伸長したものの、環境関連事業全体としては減少。

1.3 製品別・地域別売上状況

製品別売上高構成比

円高の影響もあり、制御用操作スイッチなどの売上が減少したことで制御機器の比率が減少した一方、防爆形操作盤などが堅調に推移したことで防爆機器の売上比率が増加。



1.3 製品別・地域別売上状況



地域別売上状況

(単位：百万円)	17.3月期 2Q累計	16.3月期 2Q累計	前年 同期比
日 本	13,033	13,257	△1.7%
北 米	2,488	3,088	△19.4%
欧 州	774	982	△21.2%
アジア・ パシフィック	3,908	4,271	△8.5%
合 計	20,257	21,661	△6.5%

※その他の地域の数値は除く

国内 前年同期比 △ 1.7%

- 防爆関連製品の売上が堅調に推移したものの、主力の制御機器製品や環境関連事業の売上が減少。

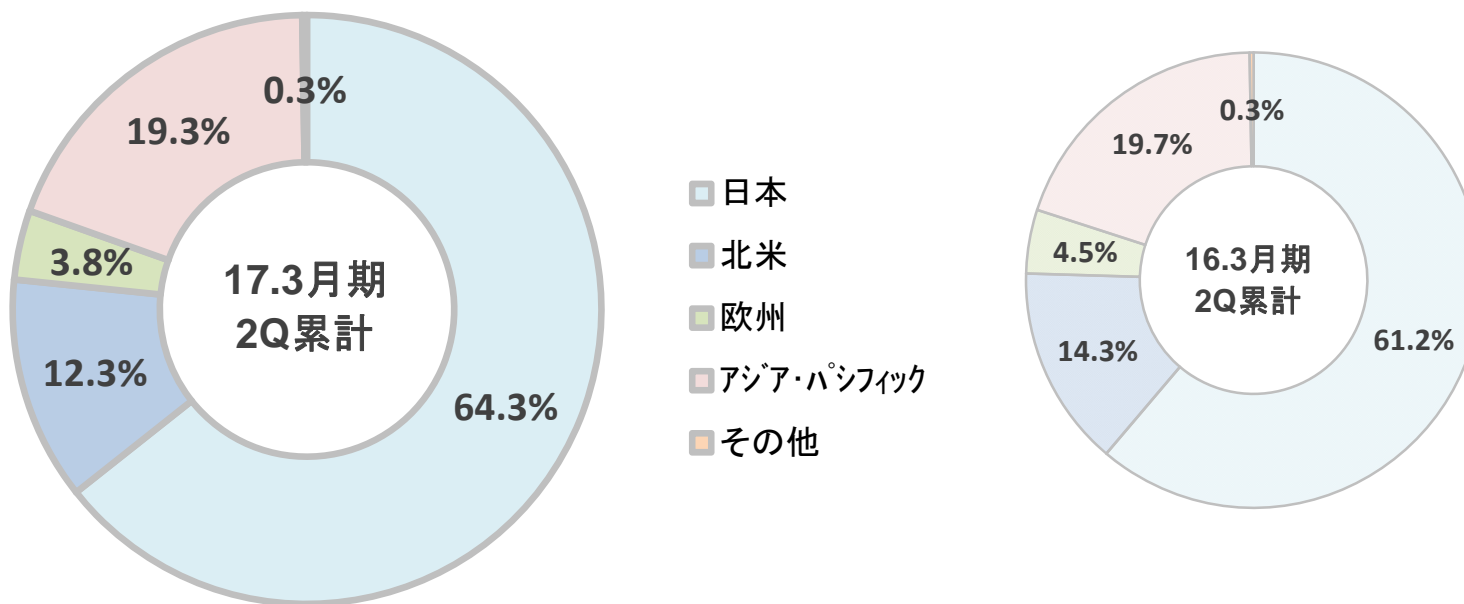
海外 前年同期比 △14.0%

- 北米では、円高の影響によりスイッチやリレーなど制御機器製品の売上が減少。
- 欧州は円高の影響により減収。
- 中国は景気減速の影響により、制御機器製品の売上が減少。

1.3 製品別・地域別売上状況

地域別売上高構成比

円高の影響などによる北米や欧州での売上減少に伴い、相対的に日本の売上比率が上昇。



1.4 連結業績概要 <連結貸借対照表>



2017年3月期 第2四半期 連結貸借対照表概要

■ 資産のポイント

現金及び預金や棚卸資産が減少したことなどにより、総資産は前期末比約4億円減少。

■ 負債のポイント

未払金が減少した一方、仕入債務が増加したことなどにより、負債は前期末比約6億円増加。

■ 純資産のポイント

利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、純資産は前期末比約10億円減少。

(単位：百万円)

科目	17.3月期 第2四半期末	16.3月期 (前会計年度末)	前会計年度末比 増減
流動資産	27,409	27,738	△328
固定資産	21,507	21,590	△ 82
流動負債	16,299	15,682	+616
固定負債	1,395	1,441	+ 46
純資産	31,222	32,204	△981
総資産	48,917	49,328	△411

1.5 連結業績概要 <連結CF計算書>



2017年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

■ 営業活動によるCF

四半期純利益の計上や仕入債務の増加などにより、18億円となった。

■ 投資活動によるCF

主に、固定資産の取得などにより△10億円となった。

■ 財務活動によるCF

主に、配当金の支払いなどにより△6億円となった。

(単位：百万円)

	17.3月期	2Q累計	16.3月期	2Q累計	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,825		2,779	△954
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,053		△465	△588
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)		771		2,314	△1,542
財務活動によるキャッシュ・フロー		△618		△1,471	+852
現金及び現金同等物の期末残高		10,410		8,746	+1,664
設備投資額		947		598	+348
減価償却費		537		740	△203

1.6 主なトピックス

■ スリーポジションイネーブル装置が「第7回ロボット大賞」を受賞

「人 - ロボット協調安全用 スリーポジションイネーブル装置」が、第7回ロボット大賞を受賞しました。

IDECでは、ロボット操作における人の安全装置として、1997年からスリーポジションイネーブル装置の技術開発と製品化を開始し、発売以来、累計で250万台出荷しています。特にロボット革命が提唱された2013年からは需要が急速に伸びており、直近の3年間だけで100万台出荷しています。



ロボット大賞を受賞したスリーポジションイネーブル装置

■ 協調安全ロボットテクニカルセンターを開設



センター内のロボットシステムのデモ機

2016年9月に、グループ会社のIDECファクトリーソリューションズが運営する、協働ロボットに特化したユニークな体感スペース「協調安全ロボットテクニカルセンター」を愛知県一宮市に開設しました。この施設では、各メーカーの協働ロボットをメインとした協調安全ロボットシステムを体感することや、ロボット導入のための検証やトレーニングなどを行うことができます。

2. 2017年3月期 通期 連結業績予想

2.1 2017年3月期 連結業績予想



■ 下期の前提為替レートを1米ドル110円から100円に見直したことにより業績を修正。

売上高 410億円 (前期比△5.7%)
 営業利益 32億円 (前期比+0.8%)

(単位：百万円)	17.3月期 今回予想				17.3月期 前回予想		16.3月期	
	予想	対売上比	予想比	前期比	予想	対売上比	実績	対売上比
売上高	41,000	100.0%	△6.2%	△5.7%	43,700	100.0%	43,468	100.0%
売上総利益	17,000	41.5%	△7.1%	△5.6%	18,300	41.9%	18,017	41.5%
販売費及び 一般管理費	13,800	33.7%	△6.8%	△7.0%	14,800	33.9%	14,841	34.1%
営業利益	3,200	7.8%	△8.6%	+0.7%	3,500	8.0%	3,176	7.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,050	5.0%	△6.8%	+20.0%	2,200	5.0%	1,708	3.9%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	67.76円	—	△4.98円	+11.26円	72.74円	—	56.50円	—
USDレート (円)	102.63円		△7.37円	△17.52円	110.00円		120.15円	

2.1 2017年3月期 連結業績予想

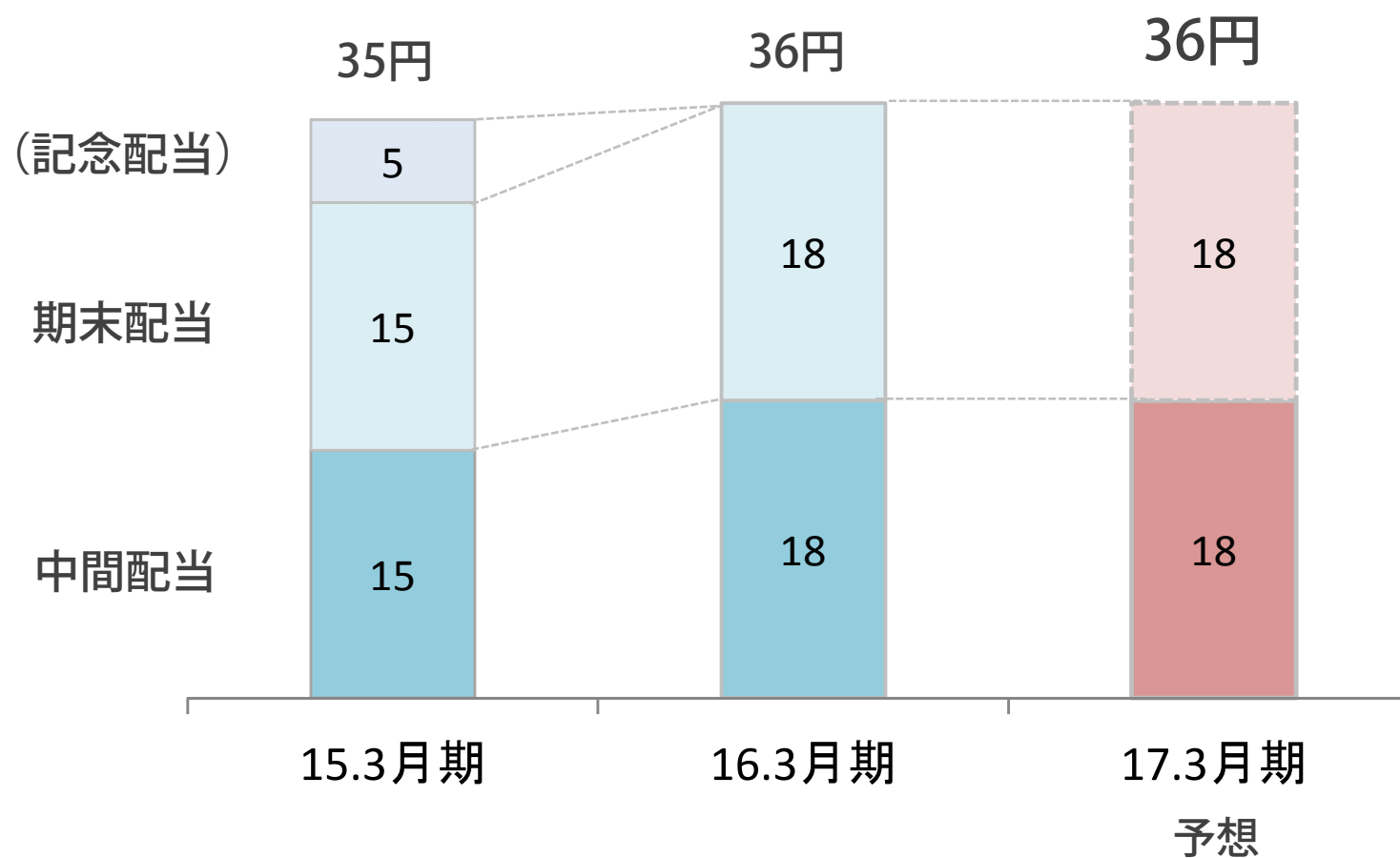


■ 防爆関連製品が堅調な一方、円高の影響を受けて北米・欧州向け売上を中心に他の製品群は減収を予想。

(単位：百万円)	17.3月期 今回予想			17.3月期 前回予想	16.3月期 実績
	予想	予想比	前期比		
制御機器製品	22,300	△8.2%	△7.3%	24,300	24,055
制御装置およびFAシステム製品	6,250	+1.6%	+1.0%	6,150	6,191
制御用周辺機器製品	4,900	△8.4%	△8.3%	5,350	5,341
防爆・防災関連機器製品	1,750	+2.9%	+5.9%	1,700	1,652
その他の製品	5,800	△6.5%	△6.8%	6,200	6,226
合 計	41,000	△6.2%	△5.7%	43,700	43,468
国内売上高	27,200	△2.9%	△1.4%	28,000	27,579
海外売上高	13,800	△12.1%	△13.1%	15,700	15,888
(海外比率)	(33.7%)			(35.9%)	(36.6%)

2.2 2017年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金は36円を予想。
配当性向は53.1%（前期は63.7%）を予想。

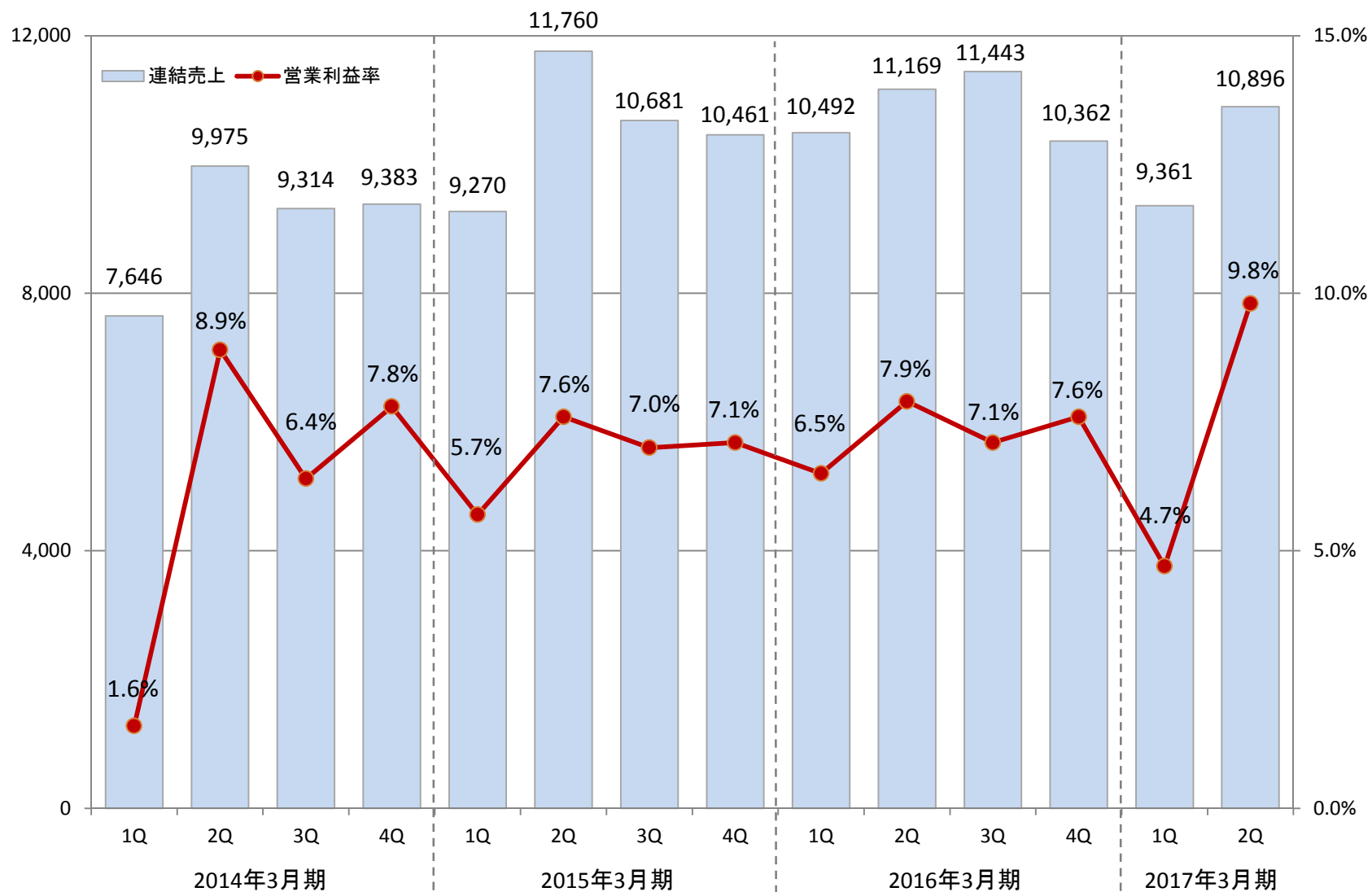


3. ご参考資料

3.1 売上高・営業利益率 四半期推移

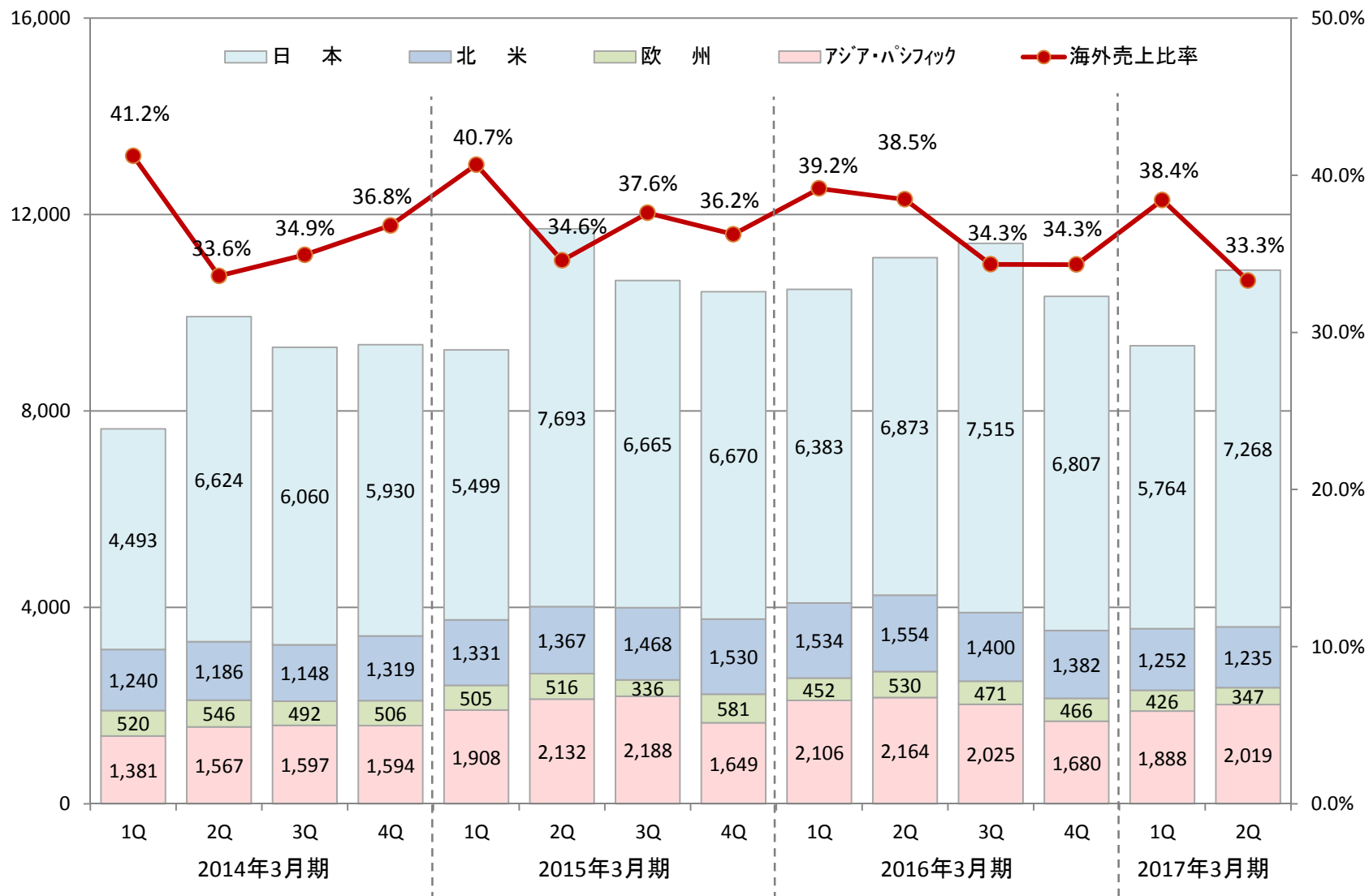


(単位：百万円)



3.2 地域別売上高 四半期推移

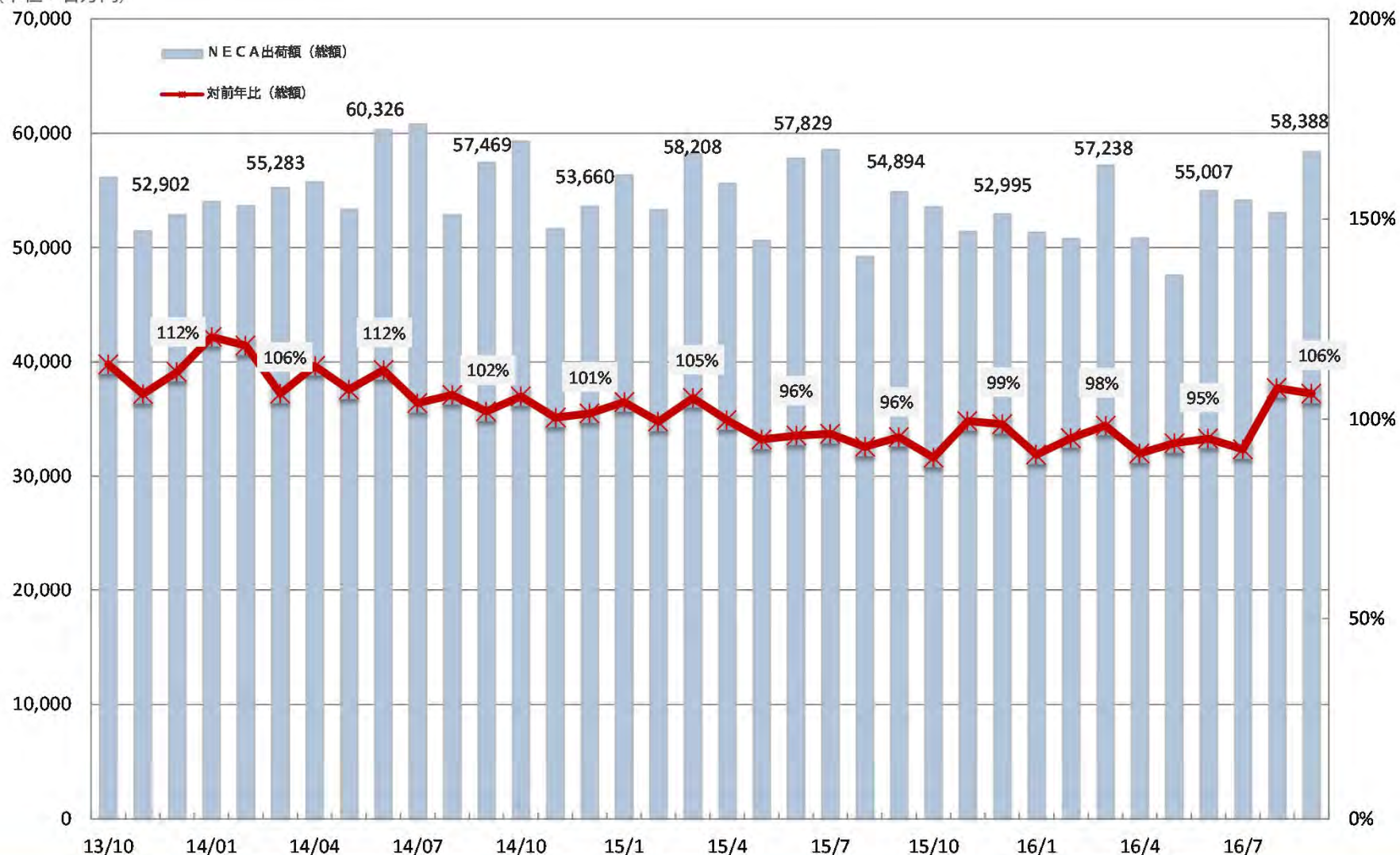
(単位：百万円)



3.3 業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)

13年10月～16年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位：百万円)



この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営管理部 経営企画グループ

TEL : 06-6398-2550

FAX : 06-6398-2587

E-mail : y.ogawa@jp.idec.com

